

平成29年度
赤穂市立赤穂中学校
「学校だより」

荒神台

NO. 32

平成29年5月16日発行
文責 校長（平井正彦）

子どもはスマホで育つ？



本校では、生徒も先生も、ネットのトラブルや犯罪の被害に遭わないように、被害の状況や適切な使い方を毎年学習しています。講師は、NIT情報技術推進ネットワーク(株)の代表、篠原 嘉一（しのはら かいち）先生です。トラブルの種類や犯罪の手口が多様化していることもあり、先生の話に飽きることはありません。

生徒たちは、身に覚えのある話を身を乗り出して聴きながら、自分が書き込んだ悪口や悪ふざけの言葉が、自分の進路を狂わせる事案、女の子とメッセージ交換をしているつもりが、相手は50代のおじさんだったという事案、突然の登録料80,000円の請求にあわてる事案など、多くのトラブルと対策について学びました。

ネットは便利ですが、それ以上に「危険」が隠れています。

今、子どものネット環境は、『いろいろな経験をすることが大事だから、あれダメ、これダメと規制しない方がいい。』と放任している状況ではないことを、ご理解いただきたいのです。

そこで、子どもたちはルールを決め、あるいは決められ、生活が乱れたり、トラブルに巻き込まれたりしないように学習しています。

研修中に、講師の先生から、次のような質問がありました。

- 親がスマホ依存症ではないかと心配である。
 - 話しかけても、スマホを止めて自分の方を向いてくれない。
 - 親もルールをつくって守って欲しい。
- それぞれに、多くの子どもの手が挙がってい

ました。危険なのは、親の方かもしれません。

先月の日曜日、赤十字センターからの帰り、JR三宮駅から播州赤穂行きの新快速に乗車しました。次の神戸駅で、私の向かいの席が空き、そこに2人が座りました。とてもよく似ていましたから、きっと親子です。姉妹の可能性も考えましたが、片方の首筋のしわの多さからして、親子です。片方は中学2年生ぐらい、得意な教科は体育で、部活動は、・・・。



そんなことより、2人は相生駅で下車するまで、会話することなく、黙々とスマホを操作し続け、私の前から去っていきました。親子なのに何か話すことはないのかと、関係のない私が余計な心配をしたのです。

せっかく母娘で出かけたのだから、スマホの画面ではなく、子どもの顔や目を見て、話を聴いたり、普段と変わらないか、何気ない子どもの仕草に目をやったりして欲しいのです。

スマホ画面は、いつでも何度でも見ることができますが、子どもの「今」の気持ちは、「今」でないと見えません。後で見たくなくても、子どもは、もう隣には座っていません。

子どもの気持ちが分からないという声をよく聞きますが、子どもは、どんな時代でも、そしてこれからも、語りかける親の声、顔の表情、匂い、温かいふところ、やさしい声かけ、そして、本気で叱り、本気で抱きしめてくれる親の愛情を子どもが実感して、初めて、子どもの心は安定し、人へのやさしさ、人を信頼する気持ち、挑戦し努力するたくましが育つのではないのでしょうか。

スマホには、『子育て』という機能はついていません。



お知らせ 5月～6月



- 市民体育祭(剣道・テニス男) 5/20 (土)
- 中間テスト 5/18 (木)～19 (金)
- 3年生登校日 5/21 (日)
- 修学旅行 5/22 (月)～24 (水)
- 赤穂小運動会 5/27 (土)



- 市中学校理科研究会 6/6 (火) [秋田先生]
- 赤穂中学校オープンスクール 6/7 (水) ※別途案内
- 1年生野外活動(嬉野台) 6/10 (土)～11 (日)
- 市中学校数学科研究会 6/14 (水) [熊倉先生]
- 期末テスト 6/21 (水)～23 (金)



赤穂中学校は、こんな学校をめざしています

学校教育目標

すべての生徒が安心して学習できる学校づくり

◇めざす教師像

- ☐ 人権感覚を磨き、人と命を大切にします
- ☐ わかる授業をめざして、工夫します
- ☐ 生徒の気持ちに寄り添い、支え伸ばします
- ☐ 生徒の力に期待し、信じます
- ☐ 厳しさと愛情をもって、生徒と関わります
- ☐ 自分を鍛え、学び、成長します

◇生徒の実践項目

- ☐ 礼儀正しく、人を大切にします
- ☐ 授業を大切にします
- ☐ 自分からあいさつします
- ☐ ありがとうがあふれる学校をつくります
- ☐ 人の話をしっかり聴きます
- ☐ 1日1か所きれいにします
- ☐ くつを揃え、こころを揃えます

◇具体的な取組〔抜粋〕

□学校環境(人・物・心)づくり

- 人権を尊重し、いじめ・暴力・差別を許さない学校●規律正しく、温かい学校●父性と母性のバランスのとれた学校●人や物を大切にし、心を引き継ぐ学校●あいさつと感謝

□支え合う仲間づくり

- JRC(青年赤十字)の態度目標『気づき・考え・実行する』の実践●生徒の力を引き出し、伸ばす特別支援教育の充実●兵庫県冒険教育(HAP)プログラムによる仲間づくり(1年野外活動)
- 主体的な生徒会活動と自浄力の向上●違いを認め合う仲間づくり

□地域との絆づくり

- 地域で活躍できる生徒●オープンスクールの拡充●地域からの協力と地域への貢献(地域との連携)●地域資源・人材の活用

□人づくり

- 一貫した指導方針による「見届ける・見放さない生徒指導」●地域人材の活用によるキャリア形成の支援●「厳しくかわいがる」生徒との関わり●校長講話を生かす学級指導●公私の区別とことばモードの切り替え

□教職員の資質向上

- 研修と研究推進の充実、教職員の人権意識向上●授業公開週間の実施●分かる授業づくりへの工夫と改善

□学校業務の改善

- 水曜日「ノ一部活デー」完全実施●定時退勤日の設定●校内文書のA版統一

□学校情報の発信

- 学校だよりの発行と校区内全戸回覧●学校HPの刷新と定期的更新

□道德の時間(授業)の充実

- 保護者の道德授業参観と学級での意見交換●道德の評価に係る研究推進



表彰と記録

市民総合体育祭まで

<男子バスケットボール>

赤穂市中学校交流大会 3/26 市総合体育館

- 2位

<陸上競技>

赤穂市選手権大会 4/29

赤穂市城南緑地公園陸上競技場

- 男子 200m 1位 池内 和輝(3年)
- 女子 100m 2位 濱本 愛梨(3年)
- 3位 岡村 祐果(3年)
- 女子 200m 1位 濱本 愛梨(3年)
- 2位 本庄 令奈(2年)

3位 岡村 祐果(3年)

県民体育大会郡市区対抗陸上競技大会

ユニバー記念競技場 5/3

- 男子 400m 1位 山本 秀(3年)

<水泳競技>

兵庫県中学校対抗水泳競技大会 3/26

赤穂市総合体育館室内プール

- 女子 50m自由形 3位 船本 愛子

<サッカー>

赤相カップ 4/30 赤穂中学校

- 1位

